



夏井小学校だより No. 19

なつい



QRコード

令和6年8月26日

<スローガン>

- なかよく
 - つよく
 - いっしょう
- けんめい



教育目標：「豊かな関わりを自ら築き、共に学び育つ児童の育成」

TEL 34-3226 FAX 34-4219 発行責任者：いわき市立夏井小学校長 須田 英明



2学期のスタートです！

今日から2学期がスタートしました。元気な夏井っ子の笑顔が学校に戻ってきました。

夏休み中に大きな事故等もなく無事に過ごすことができましたのも保護者の皆様のおかげです。子どもたちへの声かけ等ありがとうございました。

さて、本日オンラインで行われた第2学期始業式において、以下のような話をしました。

まず、みなさんが元気に夏井小学校に戻ってきてくれたことが、とてもうれしいです。1学期の終わりに先生方から聞いたお話やお家の人との約束をしっかり守り、一人一人が自分で考えて、自分の命を自分で守る行動をとることができたことをとてもうれしく思っています。これからも、命を大切に、考えて行動できる人であってほしいと思います。

さて、今日から2学期が始まりました。2学期は82日の登校日があり、1年の中で最も長い期間の学期となります。2学期は、毎日の勉強に加えて、宿泊活動や見学学習、学習発表会、持久走記録会など、みなさんが楽しみにしている大きな行事や学習活動が予定されています。体を使ってがんばる行事もあれば、友だちと協力してがんばる行事もあります。ぜひ、どの活動も笑顔でがんばってください。期待しています。

ところで、夏休み中には、4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典「オリンピック」が、フランスのパリなどで行われました。みなさんはどんな種目を観ましたか？どんな選手が心に残っていますか？校長先生は、やっぱり、サッカー日本代表の試合を全部観ました。その中でも、チームのピンチを、何度も全身で守ったゴールキーパーの小久保玲央ブライアン選手が心に残りました。何度も何度も日本のピンチを防いだことから「国防ブライアン」などと呼ばれていました。



おもしろかったオリンピックですが、勝負の世界ですから勝ち負けがあります。メダルを取れた選手も、残念ながら取れなかった選手もいます。練習の成果を十分に発揮できた選手も、できなかった選手もいます。いろいろな選手がありますが、試合後のインタビューを聞いていると、全員が共通して言った言葉がありました。

それは、「これまでたくさんの方々にお世話になってきました。たくさんの応援もいただきました。みなさんの力がなければ、今のわたしはいません。」という内容の言葉です。オリンピックに出るほどの選手ですから、誰よりも練習をして、誰よりも努力をして、たくさんの準備をしてきたはずですが、でも、そんな選手でも、全員が「周りの人のおかげで自分がある」と言うのです。

みなさんには、「だれかのおかげで自分がある」という気持ちが分かるでしょうか？お家の人の助け。お友だちの助け。先生のおかげ。がんばる自分の周りには、たくさんの方の支えがあることを忘れずに、2学期もがんばってください。

なかよく、つよく、いっしょうけんめいがんばる夏井小学校のみなさん。みんなのおかげで自分がある。自分のおかげでみんながいる。困っている人がいたら手を差し伸べて、喜んでいる人がいたら一緒に喜んで、みんなで協力してがんばっていきましょう。

校長先生は、みんなが助け合ってがんばる姿を楽しみにしています。

2学期も、本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

